

理科研究部 2024年度 夏季合宿(山梨県 大菩薩峠)の報告

高校1年 齋藤 大輝 ・ 顧問 荒井 賢一

夏季合宿を、8月1日(木)～8月2日(金)の1泊で実施しました。この合宿は天体観察や科学観察、部員間のコミュニケーションを深めることを目的とした、理科研究部の恒例行事で、今回は高校1年生14名と高校2年生1名の総勢15名の生徒が参加をしました。

1日目は、JR塩山駅から路線バスで30分ほどの大菩薩峠登山口より、一般向けハイキングコースを徒歩で、目的地(宿泊地)の標高約1700mに位置する大菩薩ヒュッテ(山梨県塩山市)を目指しました。途中、登山道にヘビやカエルなどの動物の出没もありましたが、天候にも恵まれ、全員が元気に登り切りました。



大菩薩ヒュッテに到着し一休みすると、早速各人がヒュッテ周辺での活動を始めました。夜には天体観測を行い、初めは雲に隠れ見えませんでした。徐々に雲が開き、星空が見えました。2日目の早朝には標高1897mの大菩薩峠まで登りました。ここでは、雲海や富士山を見ることができました。



2日目の午前中はグループに分かれフィールドワークを行いました。私は褐簾石の採掘を行いました。水質調査や生息生物の調査に取り組んでいた人もいました。自然の中で行う活動は楽しかったです。





2日間の食事は、事前に決めてそれぞれが材料を持ち寄り、料理の得意な人が率先し、互いに協力して調理をしました。食中毒に十分配慮し、安全に美味しく作ることができました。



今回の合宿には、昨年度の合宿に参加をした2年生も来てくれました。褐簾石採掘の際に様々な情報を教えてくれて、非常に頼もしかったです。初めての夏季合宿でしたが、個人研究の内容を決めていくうえでもおおいに参考になりました。

